

令和6年度 経営発達支援計画事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 江差商工会 経営発達支援事業評価委員会
2. 開催日時 令和7年3月24日（月）10時30分
3. 開催場所 江差商工会館2階会議室
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 西野会計㈱ 専務取締役 三上 修吾
江差観光コンベンション協会 会長 西海谷 望
檜山振興局産業振興部
商工労働観光課 課長 福士 裕紀展
 - (2) 事業実施者 江差商工会 事務局長 羽原 法昭
(事務局) 江差商工会 経営指導員 竹田 直人
江差商工会 経営指導員 若山 聡志
江差町産業振興課 係長 成田 晃貴

5. 内 容

定刻となり、事務局が開会を宣し、羽原事務局長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

I. 令和6年度事業報告について

令和6年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した事業内容は以下のとおり。

(1) 地域の経済動向調査に関すること

①地域の経済動向分析の実施

小規模事業者を取り巻く内部・外部の経営環境を分析するため「地域経済分析システム (RESAS)」を活用し、地域の経済動向分析を行った。分析結果を取りまとめて、巡回訪問時やホームページ等において、事業者に対し情報提供を行った。

◇目標：地域経済動向分析の公表回数：1回 ◆実績：1回

検証結果：地域における生産、分配、支出の流れや影響度を分析し、経営判断の基礎資料として情報の提供を行った。
今後も事業者にとって有益な情報を提供することや、支援企業の事業計画策定等に活用していきたい。

②情報交換会の開催による情報収集

地域金融機関や会計事務所との定期的な情報交換会を実施することで、地域の経済・消費動向等を把握し、連携機関相互の業務の円滑化に結びつけることを目標に情報交換会を実施した。

◇目標：2回 ◆実績：2回

検証結果：定期情報交換会を開催したことで、域内の景気動向等について情報を共有し、経営発達支援事業の円滑な取り組みに向けた話し合いを行うことができた。
今後も定期的に情報交換会を開催し、地域内の企業情報や景気動向等について可能な範囲で情報共有することで、企業支援に活かしていきたい。

(2) 需要動向調査に関すること

①展示会でのアンケート調査

展示会への出展者はいなかったことから、展示会でのアンケート調査は実施しなかった。

◇目標：2社 ◆実績：0社

検証結果：人手不足等の経営環境の変化に柔軟に対応し、意欲的に新商品開発や販路拡大に取り組む出展事業者の掘り起こしを行いながら、域内外へ売場を目指すための効果的な販路開拓支援に繋げていきたい。

②顧客満足度向上のための個店調査

飲食店2店を選定し、来店客に対し自店の商品・サービス等のアンケート調査を行うことにより、経営状況を把握することや調査内容の分析結果を事業者へフィードバックすることを目的に実施した。

◇目標：調査2社 ◆実績：調査2社

検証結果：来店者の属性や、来店頻度、来店理由、満足度等に係る回答が得られた。データの分析結果を事業者にフィードバックしたことで、事業計画の精度が上がった。

今後も事業者にとって有益な情報を整理・分析した上でフィードバックし、事業計画の策定や見直し等に活用することで支援事業者の経営力向上に繋げていきたい。

(3) 経営状況の分析に関すること

①財務分析・非財務分析の実施

支援重要度の高い事業者等を選定し、ローカルベンチマークを活用した経営分析支援を行った。

◇目標：15件 ◆実績：15社

検証結果：ローカルベンチマークの活用により、統一したかたちで企業の経営状況等を把握することができた。分析結果は、支援事業者にフィードバックし、事業計画策定支援に活用したほか、職員間で共有することにより、円滑な企業支援に結びつけることができた。今後も分析ツールを活用し、効果的な事業者支援へと繋げていきたい。

(4) 事業計画策定支援に関すること

①セミナー開催

エネルギー価格・物価高騰等に伴う経営環境の変化に対応するため経営の早期回復と事業の安定化に向けた取組として、補助金申請にも対応した事業計画策定セミナーを開催した。

◇目標：1回 ◆実績：1回

検証結果：各種補助金申請等に対応した事業計画策定セミナーを開催したことで、事業計画策定の意義や重要性について理解が得られたと感じている。今後も継続したかたちでセミナーを開催していきたい。

②事業計画策定

ヒアリングやローカルベンチマークを活用した経営分析資料等により、事業計画策定支援を行った。

◇目標：15件 ◆実績：15件

検証結果：ローカルベンチマークを活用したことで自社の現状把握と経営改善や新たな事業展開に向けた明確な計画立てができたと感じている。今後もより効果的な支援を行っていただけるよう支援内容の質の向上を図っていきたい。

③創業計画策定

専門家と連携した新規開業に係る支援を実施し、事業者の現状等を確認した上で事業計画策定支援を行った。

◇目標：2件 ◆実績：1件

検証結果：専門家と連携したことで新規開業者に対して事業を軌道に乗せるための実効性の高い助言等を行うことができた。今後も専門家や行政、支援機関等と連携を図りながら創業希望者の掘り起こしを行い、事業者支援に取り組みたい。

④事業承継計画策定

専門家及び支援機関等と連携した事業承継支援を実施し、事業者の現状等を確認した上で事業承継計画策定支援を行った。

◇目標：1件 ◆実績：2件

検証結果：2件の内、1件は専門家及び支援機関等と連携したことで円滑な事業承継の取組に向けた支援へと繋げることができた。引き続き、専門家や行政、支援機関等と連携を図りながら事業承継予定者や廃業予定者の把握に努め、事業承継支援を継続していきたい。

(5) 事業計画策定後の実施支援に関すること

① 通常の事業計画策定支援先へのフォローアップ

通常の事業計画策定支援先15件に対し、巡回訪問及び窓口支援により事業計画策定後のフォローアップを行った。

【目標】

◇フォローアップ件数：15件	◆実績：15件
◇フォローアップ頻度：90回	◆実績：121回
◇売上増加事業者数：5件	◆実績：12件
◇売上増加率3%向上事業者数：5件	◆実績：9件

検証結果：巡回支援等により定期的なフォローアップを行ったことで、事業計画策定後の前年同月比の売上高が向上した月がある事業者が12件、売上増加率が3%以上向上した月がある事業者が9件あった。引き続き、事業者との信頼関係を構築しながら、今後も必要に応じて専門家派遣制度等を活用し、きめ細かな企業支援へと繋げたい。

② 創業・事業承継計画策定支援先へのフォローアップ

新規開業・事業承継計画策定支援先3件に対し、巡回訪問及び窓口支援により事業計画策定後のフォローアップを行った。

【目標】

◇フォローアップ件数：3件	◆実績：3件
◇フォローアップ頻度：18回	◆実績：18回

検証結果：専門家や支援機関等と連携しながら定期的なフォローアップを行ったことで、効果的な伴走型支援へと繋げることができたほか、事業者との信頼関係を円滑に構築することができた。今後も専門家や支援機関等と連携したかたちで、きめ細かな企業支援に取り組みたい。

(6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

① 商談会・展示会

長期化したコロナ禍での出展により感染症の影響を懸念する声や、人手不足などの理由により商談会・展示会への出展はなかった。

【目標】

◇出展件数：2件	◆実績：0件
◇成約件数：2件	◆実績：0回

検証結果：巡回支援等により出展事業者の掘り起こしを行いながら、専門家や支援機関等と連携したかたちで、域内外へ売場を目指すための効果的な販路開拓支援を行っていきたい。

② IT活用セミナー

DXを推進し、ITを活用することで自社の取扱商品・サービス内容等について域内外へ積極的にPRし、新たな需要開拓の機会を創出することを目的としてセミナーを開催した。

【目標】

◇セミナー開催： 1回 ◆実績：1回

検証結果：セミナーを開催したことで、DXに関する基礎知識のほか、DXツール導入による業務の効率化や活用事例等の紹介により、事業収益の安定化を目指すための知識の習得がなされた。今後も引き続き、IT導入等に係る学習の場を設けることで、事業者の売上増加に繋がる継続的な支援を行っていききたい。

③共同広告事業

エネルギー価格・物価高騰等の影響を受けている観光関連業種で主に宿泊業・小売業を中心とした小規模事業者22社の共同によるガイドブックを作成し、周知・PRを行った。

広告媒体については、自社の基本情報や個性的で魅力ある商品やサービス内容等を掲載し、当町及び近隣町へ新聞折込を行ったほか、デジタルガイドブックとして当会ホームページや江差町が運営するポータルサイトに掲載した。

【目標】

◇実施回数： 1回 ◆実績：1回

検証結果：共同広告事業として消費者に対して各個店の魅力ある商品やサービス内容等を紹介したことで、江差町内及び近隣町からの来店促進に繋げて事業者の売上貢献に寄与することができたと感じている。今後も事業者にとって相乗効果があり、効果的な需要喚起を図ることで町内経済の活性化に結びつけていききたい。

**(7) A. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組
B. 地域経済の活性化に資する取組**

経営発達支援事業の内容報告に併せて、上記A・Bの取組内容について説明を行った。

II. 令和7年度の経営発達支援事業について

事務局より上記説明に併せて、令和7年度に3期目となる経営発達支援計画の認定に向けた申請手続きを予定していることや、令和7年度の経営発達支援事業の概要等について確認を行った。

III. 事業の評価・見直し結果の内容について

各項目で自己評価に基づき事業の具体的内容等について説明した結果、外部有識者からは次のとおり意見が出された。

西海谷氏より事業計画策定セミナーの出席者数について質問があり、事務局より出席者は6名であり、次年度も開催する予定であることから、巡回

支援等により出席者数の増加を目指しながら、事業計画策定の意義や重要性について理解を得られるよう取組をおこなっていききたい旨の回答をおこなった。

また、創業・事業承継計画策定支援先の件数とフォローアップ頻度については、目標値に達していることから評価を上げて良いのではとの意見が出された。

その他にも商談会・展示会への参加がなく開催内容等について質問があり、事務局より北海道商工会連合会が主催する「北の味覚 再発見」の開催内容や周知方法のほか、これまでのコロナ禍等の外的要因や人手不足などの理由により数年出展者がいないこと等について説明をおこなった。

福士氏より商談会・展示会等について、事業者の負担になるような出展となる場合は、代替事業として新たな取組をおこなった方が良いのではとの意見があり、事務局より2期目となる経営発達支援事業は、令和3年度～令和7年度までの5か年計画事業となっていることから、次年度についても実施する予定であり、商談会への参加については、巡回支援等により事業者の負担とならないかたちでの出展となるよう理解を得ながら支援をおこなっていききたい旨の回答をおこなった。

三上氏より、西海谷氏と同様に創業・事業承継計画策定支援先の件数とフォローアップ頻度については、目標値に達していることから評価を上げて良いのではとの意見が出されたほか、定住促進や地域の活性化を図ることを目的とした空き家バンク事業について、経営発達支援事業の中で取り組むことで地域経済の活性化に繋がるのではとの意見が出された。

事務局より、空き家バンク事業については、取組内容によっては経営発達支援事業の地域経済の活性化に資する取組として推進できる可能性があることから町と商工会とでその内容等を確認し、情報共有するなど連携を図りながら3期目の経営発達支援計画の中で検討していききたい旨の回答をおこなった。

その他意見等はなく、今後も行政及び支援機関等と連携を図りながら、伴走型補助事業等を有効活用し、本事業を推進していくことの確認を行った。

以上をもって全ての案件について終了したので、羽原事務局長の挨拶により、閉会を宣した。